

つきさつぷ

第35号

発行責任者

〒062-0051 札幌市豊平区月寒東1条3丁目

北海道札幌月寒高等学校内

北海道札幌月寒高等学校同窓会

TEL (011)851-3111・FAX (011)851-3112 http://www.tsukitsappu.com

印刷所 株式会社 孔版社

現住所・幹事等の変更について

現住所・幹事等に変更があった場合は札幌月寒高等学校同窓会事務局宛ご連絡ください。

題字：中川清風先生

また例年の同窓会懇親会は記念祝賀会として十月十九日(札幌パークホテルにて開催します。会員の皆様

氏のコラボ「アップタウン」(吉本興業)に進めていただく予定です。

会は、在学中から芸能活動をしている四十四期卒業の竹森巧、阿部浩貴

コンセプトです。セレモニーの総合司

露を考えています。節目の年に在学

残るものにしたと考え、本校文化

部を中心としたパフォーマンスの披

露を考えています。節目の年に在学

職を全うしたいと思います。

方針も決定し、憎越ながら私、協賛

協会会長を拝命しました。非力ながら

活躍する同窓生のニュースを聞くの

に幸多からんことを祈ります。今期

同窓会活動にご理解とご協力を賜り厚



挨拶

同窓会会長

挨拶

井筒和幸

14期生・昭和41年卒

にはこそって参加をお願い申し上げます。なお詳細は本校ホームページにて発表いたします。

月高同窓会「つきさつぷ」は総会大懇親会を今年で四十二回を重ね、同窓会会報も二十五号と途切れること無く発行して来ました。会員の皆様や学校教職員の皆様の理解協力の賜物と心から感謝しています。また、幹事長はじめ、会役員の献身的な活動にはいつも頭の下がる思いです。「会員相互の親睦を図り教養を高め、あわせて母校の発展に寄与する」とは本会の目的です。また多くの課題を抱えた会ですが、仲が良く優れた組織だと自画自賛しています。職業柄でしょうか、マネージメント力に欠ける私が十年間の会長職を全うできたのもこうした多くの方々の応援のおかげです。周年行事後は新たな役員体制で臨みます。より優れた「つきさつぷ」となる実感があり、今からわくわくしています。

清澤智克校長はじめ、周年行事に道筋をつけ退職、移動の諸先生には心から感謝申し上げます。立派な行事だったと熱意を得るよう取り組んでいく所存です。

創立してからの幾星霜に思いをはせるよい機会です。母校がこれまで長きにわたって受け継ぎ、築き上げてきたものを振り返ってみたいとも思います。



「新しい景色を見たい」 〜新たなステージに向けて〜

校長 清澤智克

同窓会会報「つきさつぷ」第三十五号の発行を心からお喜び申し上げますとともに、会員の皆様には、日頃から本校の教育活動に多くのご支援をいただいておりますことに、心からお礼申し上げます。

また、本日、正式に同窓会に入会されました第六十七期卒業生の皆さん、卒業、そして同窓会への入会、誠におめでとうございます。君たちの益々の活躍を期待いたします。

昨年十月に開催されました第四十一回「総会」及び「懇親会」においてご挨拶させていただきましたが、本校在職二年目もほぼ終え、同窓会員の皆様の多大なるご支援のもと、なんとかその責任を果たせたものと安堵しております。

さて、Jリーグの昨シーズンは、コンサドーレ札幌が激しい闘いを繰り広げていた終盤戦の間、サポーターやマスコミ等が叫ぶ「新しい景色を見に行こう」というキャッチフレーズをたびたび耳にしました。結果は四位と念願のACL(アジア・チャンピオン・リーグ)の出場はなりませんでしたが、過去最高順位。シーズンオフの現在も、今年こそ「新しい景色を見たい」という意気込みが毎日のように伝わってきています。

一方で、「天皇退位・新天皇即位」となることから、様々な恒例行事やイベントに「平成最後の〇〇：」という表現がよく使われます。(例え

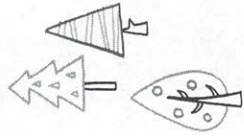
ば「平成最後の年賀状」「平成最後の箱根駅伝」「平成最後の同窓生」などなど...) 昭和から平成、そして新時代へと世の中はやはり大きな転換期を迎えているのだと実感します。

本校においても、本年十月には生徒主体の創立七十周年記念事業の実施を予定しております。また、今回の全日制入学者選抜は「最後の八学級募集」となります。さらには三年間にわたった校舎大規模改修工事も本年で完了の予定です。おそらく「つきさつぷの丘」から見える本校の姿も「新しい景色」となるものと推察します。そして、その「新しい景色」は、確実に一歩進んだ「新たなステージ」であるものと確信しております。

私個人は、本年度末をもって三十六年間の教職生活にピリオドを打ちますが、最後の勤務先が「月寒高校」であったことは、この上なく光栄なことでありました。

その「月寒高校」が、同窓会員の皆様とともに、「新しい景色」の中、「新たなステージ」を切り拓き、未来永劫にわたり輝き続ける姿を見続けていたい、と心から願いつつ、二年間のお礼のご挨拶といたします。

誠にありがとうございました。



「卒業、早40年」

第41回同窓会実行委員長 伊藤 靖

27期生・昭和54年卒



月寒高校同窓会は今回で四十一回を教え、母校は今年七十周年を迎えることとなりました。時の経つのは改めて早いものと痛感するこの頃です。

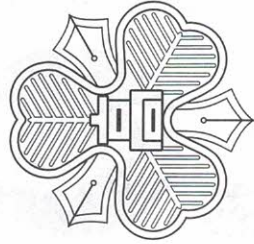
伝統という言葉がありますが高校、大学と道内においては歴史のある学校を卒業した私においては、この伝統の恩恵を大いに受けた者であると感じております。同じ高校のよしみ、同じ大学の先輩後輩の関係、同じクラブ活動の親近感等様々な関係が日々の生活の中で自分を豊かにしていただいたと感謝しております。同窓のよしみというのは、話せばわかる安心感と同じ場所、同じ環境に身を置いた仲間意識から生まれるのだと思うが、その数が多いことが伝統の強みであると思えます。

今回我々は最後の同窓会当番幹事期となり同期生で約六十名が集まる事ができました。が、潜在的には百名余りが参加したかっと思っております。卒業四十年を一言でいえば早かった。に尽きるのですが様々な道

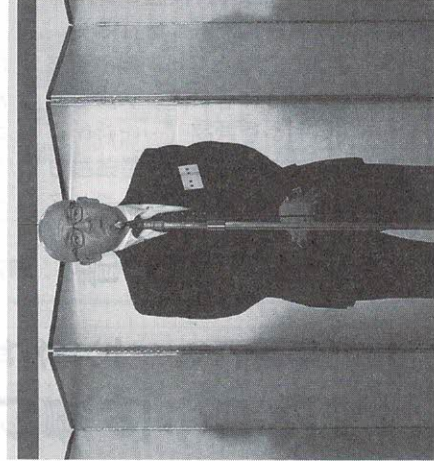
のりがあり、その一瞬を懸命にもがき、日々の積み重ねの結果ようやく今の自分に皆がたどり着いていると思うとその姿を見て感慨ひとしおです。そして日常からちよつと離れてホッとしている自分がありました。同窓会があって良かったなあ〜と。これも本会を立ち上げていただいた先輩諸氏のおかげです。同窓会も一つの伝統にさせていただき感謝です！

これから卒業する皆さんは目前の希望に満ち溢れていて、同窓会と言われてもピンとこないと思いますが、時間と経験が必ず伝統の良ささと重みを感じさせてくれると思います。

ああ、月高卒で良かったと思える未来を切り開いていただきたいと切に思います。最後に同窓会関係者の皆さまのご健勝をお祈りするとともに、学校関係者の皆様に感謝申し上げます。



母退礼慨月恭



第41回 平成30年度 北海道札幌月寒高等学校同窓会

母退礼慨月恭

「同窓ということ」

第41回同窓会実行委員

小野寺 訓江

27期生・昭和54年卒



平成三十年十月二十日、札幌パークホテルに於いて第四十一回北海道札幌月寒高等学校同窓会大懇親会(当番幹事二十七期・三十七期・四十七期・五十七期)が開催されました。

卒業して四十年、同窓会への参加は勿論、準備に関わった事も無く、浮かぶ映像が何もないまま同窓会幹事会に出席をさせていただきましました。すっかり様変わりした校舎の会議室で行われる幹事会では、長年同窓会役員を引き受けてくださっている先輩方が、限られた時間の中で準備出来る様算段してくださっていました。もう回ってくることの無い「最後の当番幹事」という言葉が過ぎた時間を物語りますが、この言葉で沢山の仲間が幹事を引き受けてくれ、幹事会の度にミニミニ同窓会の様になっていきました。幹事会に出席できなくても、メールやLINEグループの中で情報交換をしたり、携帯電話も無かった学生時代には考えられないような方法でつながって、アラ還二十七期の幹事はチームワーク抜群で動き出しました。

幹事の大事な大きな仕事

が名簿作り。卒業して四十年、一クラス四十名以上で十クラスあった時代。四百名以上いた同期のうち、何人も既に他界されていることがわかり、会える時に会っておこうと思っている人は私達だけではないだろうと感じ始めました。「近所の八百屋さんが同期だ!」「実家の隣が同期だから確認してみる!」等々、幹事それぞれの持つ人脈で名簿が積み上げられ、最終的に約二百六十名に同窓会の案内を発送できました。まず、この封筒を開けてもらうための仕掛けをしようとのアイデアがあり、封筒の表に幹事の名前を書き、パークホテルで集まりましょうと記したシールを貼り発送しました。効果はいかがなものであったか。幹事の「会える時に会っておこう」という思いは届いた事でしょう。メールやLINEで個人的に出欠の確認をしたり、これを機会に会いたい人に連絡をとったり、忙しくも楽しい時間でした。

同じ時代と同じ季節を過ごしても、その時期を彩る思い出は様々であること、懐かしいだけの高校生活を過ごした人ばかりではない事も知る機会となりました。各クラスの担任の先生も、ご出席いただけたのは二名。何しろ生徒がアラ還ですか

ら、もっと早くにお会いできていれば後悔の念でいっぱいです。

当日は、懐かしい人々との再会。遠くから日程を合わせて参加してくれた方も何人もいて胸がいっぱいになりました。この再会がまた新しい関係に発展すると嬉しいなと思いました。次は還暦の同期会で再会する目標ができました。

同窓会に関わって、あそこにもここにも同窓生がいる!なんとも心強い気持ちになりました。同窓会というだけで、こんなにも心がほぐれるものなんだと、過去の点が線になった時間でした。

皆さまのご健康とご多幸を心より願っております。ありがとうございました。



平成30年度北海道札幌月寒高等学校同窓会

「37期48歳幹事を終えて」

第41回同窓会実行委員 佐藤 志帆

37期生・平成1年卒



そもそも私は幹事ではありませんでした。確か卒業時に各クラスから一名の幹事を選出したはず。ですが、私はその二名のうちのどちらでもありません。たまたま幹事会の日に予定がなかった代理の代理です。

いつしか今回の同窓会の幹事として名を連ねてしまっていた次第です。

私は高校時代を「イイ思い出」としてしています。

多感なお年頃ですから進路・人間関係・恋愛・楽しいことばかりではありませんでした。しかし、卒業から三十年も経つと、全てが自分の糧になっているのだと実感するもので、良し悪しひっくり返して「イイ思い出」になっています。だから素直に当時を懐かしいと振り返ることもできます。

しかし、誰もが高校時代を私と同じ思いをもっているわけでもなく、三十年経つからこそもうどうでもよしい、あるいは触れたくない過去になっている人がいるのも現実。それでも、せっかくだから同窓会という場で仲間に出会える機会を、より多くの同期生にお知らせしたい、幹事として役に立

ちたい、という気持ちになりました。

より多くの同期に同窓会を周知させようとする企み(?)は、心が折れそうになることもありましたが、同期それぞれの温度差を実感するわけです。

それを一緒に愚痴りながら励ましてくれたのもやはり同期の幹事です。

「相変わらずいい加減なコト言うよなあ!」と

思っている、きちんと期日までに情報をまとめてくる幹事連中!!さすが!!また、幹

事の呼びかけで集まり、効率的に作業してくれた同期

の仲間。「なんだかんだ言ってもいいやつばかりだよなあ

月高は」と、勇気づけられました!みんなありがとう!

このような協力のもてこぎつけた同窓会には、文

字通り全国各地からたくさん同期が駆けつけてくれました。卒業以来、初めて

会う仲間もたくさんいました。

まさか卒業して三十年後に会うなんて、十八歳の私

たちはこれっぽっちも考えなかったですよ。

三十年間、それぞれ紆余曲折を経ているのでしょう

が、なぜか会うと当時にタイムスリップ。社会的地位

も立場も関係なく「月高生」に戻ってしまうのね!と、

私自身、いくつかのよい

をはずして居心地のよい時間を過ごしました。

月高時代のようなテンションで過ごした翌日は心身共に疲労困憊。抜け殻のよう

になっていましたが、みんなそれぞれの立場で

踏み張って「生き抜いている」を感じられただけで

力をもらえました。

同窓会。行けるなら行きましようよ。会える時に会

ておこうよ、と思います。会いたくても会えなくなっ

た仲間もいます。

あの時あっておけばよかったって後から思っても遅い

んだって情感しています。

人生は振り返った時、少しでも悔いが少ない方が幸

せかなと思います。

四十八歳 同窓会でちょっと人生考えちゃいました。

同期の皆さん、幹事は楽しかったというより、面白

かったです。だから、十年後、誰か!!幹事やってくだ

さい!!



第41回平成30年度北海道札幌月寒高等学校同窓会

「十年振りの当番幹事」

第41回同窓会実行委員 足利 英俊

37期生・平成11年卒



昨年あたりから「来年は俺たちだからな」という言葉が周りからちらほら聞こえるようになり、前回の当番幹事からもう十年経つのかと、年々時間の進み方が加速しているかのような錯覚に陥りながら最初の幹事会の日を迎え、十年前と同じように、人探しに右往左往する日々を過ごすこととなりました。

幸い、我々三十七期は各組一名以上の幹事を確保し、そのうちの半数が十年前も幹事を行った経験者で固められたので、人集めから欠確認まで比較的スムーズに出来たのではないかと思います。

今から幹事仲間に加わった同期も、前もってクラス会を催したり、卒業当時の住所に直接出回ったり、ネットで不明者氏名を検索してSNS等で連絡が取れないかを試したりと、とても積極的に動いてくれたこともあり、四百六十名中三百名以上と連絡が取れ、そのうち八十名以上の同期と再会することができました。

その仲間たちの責任感を

持った働きぶりに、卒業してから三十年、みんなそれぞれのフィールドで努力を重ねてきたんだなと、とても大きな刺激をいただきました。

また、十年前の反省から「人探しは大勢でやるに限る」ことを学んでいたのので、今回は案内状に「不明者リスト」を同封して、同期の仲間へ広く協力を呼び掛けるところ、多くの情報が寄せられ、同期生の一体感を感ずることができました。

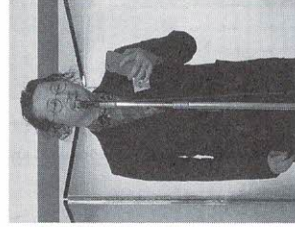
参加してくれた同期も、「みんな自分のことを覚えているだろうか」「自分と分かってくれるだろうか」「何を話せばいいのか」とそれぞれ不安に思っていたようですが、当日になってみると、会が始まる前、受付の段階であちこちで話の花が咲き、それは懇親会中も、その後、二次会三次会が終わるまでずっと途切れすることはありませんでした。そして最後に「来て良かったです。幹事のみんな本当にありがとうございました。全てが報われたと思います。」

最後に、今年度の第六十七期卒業生、そして新同窓会員となられる皆様、今後皆様は、進学・就職など人生の転機を、それも特別大

きな転機を立て続けに迎え、その都度新しい仲間との出会いや別れをご経験されることになると思いますが、高校時代の仲間は、進学先の仲間や仕事仲間とはまた違った関係性があります。

ですので、現在あなたの周りには仲間たちとはメールでもSNSでも何らかの形で繋がっててください。

二十年後、三十年後、そのことが必ずかけがえのない宝物となっているはずですよ。



「卒業から20年の3年間」

第41回同窓会実行委員 森 健一郎

47期生・平成11年卒



月寒高校を卒業して二十二年が経ち、今回参加しました第四十一回同窓会の時間はとても有意義な時間でした。

月寒高校での三年間を共に過ごした同期との再会が久しぶりに会ったクラスメイトから、あまり会話したことのない同期とも当時の記憶を思い返しながらか



弾み二十年という年月を経てからでも、十分に楽しく、「皆と繋がっているのだな。」と再確認できる会でした。

今回の同窓会では四十七期の幹事としての役割を受け持つこととなりました。在学中の私は野球部に所属し、卒業後も野球部は新聞などでチェックし、現野球部監督で同窓会事務局の花田先生は在学中の先生でもあったので前年度に届いた第四十回同窓会開催の案内を見て軽い気持ちで参加したのが幹事をするきっかけでした。同期の野球部とは定期的に会う機会もあり、連絡が取れる同期もいたので何とかいけるのでは？と思い、軽い気持ちと、前回(第四十回)の同窓会に参加した四十七期が私だけでしたので少しの覚悟をもって幹事として今回の同窓会に挑みました。そこから今回の同窓会に幹事として一緒に参加出来る同期に連絡。久々の連絡でしたので多少の緊張と不安はありましたが、ありがたいことに快く引き受けてもらえました。私にとって非常に心強かったです。

まず始めてみると同窓会が開催されていることがあ

知られていなかったのです。は参加よりも約四百人の同期に「十年毎に開催されているよ!。」という事を広く知ってもらえば良いと思っていました。最終的には四十名程の同期と共に参加となりましたが、連絡を取っていると今回は参加できないけど次回は是非!という声を複数もらったので次の十年後にはきっと繋がりが大きくなっているのではないかなと思っています。

幹事という役割は責任を感じますが、同窓会をきっかけに疎遠だった同期に連絡を取り、幹事会の方々、同期の幹事と同窓会に向けての準備等は日常の良いアクセントとして私に充実をもたらしてくれました。

同窓会は月寒高校出身という一つの繋がりを集めた集まりです。繋がりを面倒と思う場面もあったかもしれませんが、同窓で繋がった集まったりするのもなかなか楽しいと思います。同窓会時にも「楽しかった!」「連絡先を交換できてよかった!」そして「ありがとう」という声ももらえて、当時の三年間を卒業から二十年を経て振り返る事で新発見、再確認が出来ました。

今後も四十七期の繋がりを広めて皆さんと再会できればと思います。

皆さんありがとう!またよろしく!

「57期当番幹事として第41回同窓会懇親会を終えて」

第41回同窓会実行委員 小竹 淳基

57期生・平成21年卒



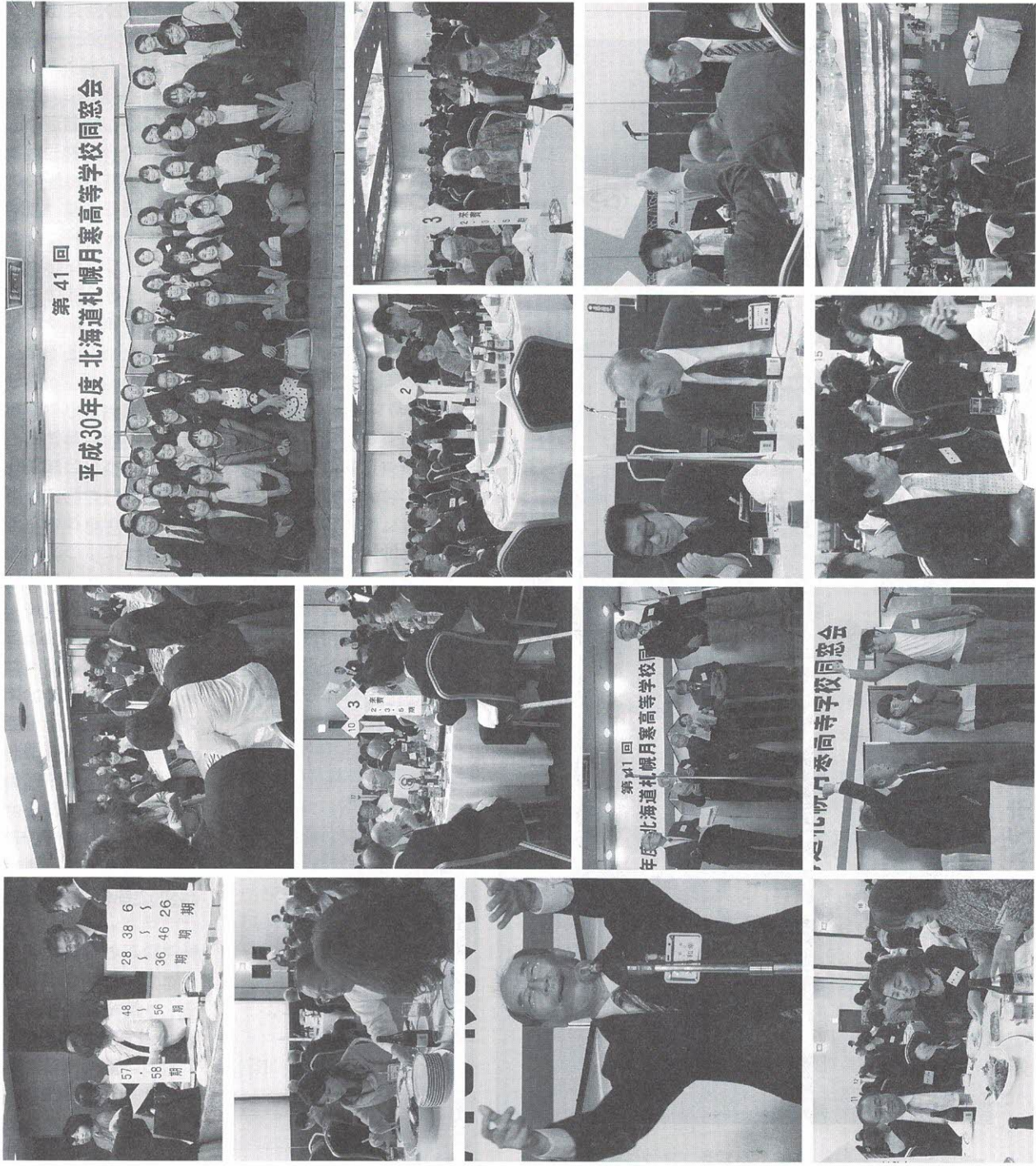
高校を卒業して十年、五十七期生として初めて参加した月寒高校同窓会懇親会に当番幹事として携われたことは大変光栄で御座います。同窓会懇親会は今回で四十一回目となり、その参加人数や規模、各期の諸先輩方が集まっている姿を見て改めて月寒高校の歴史を感じたのと同時に私自身もその月寒高校卒業生の一人であることを実感しました。

その凄さにやや圧倒された当日でしたが、準備段階では連絡先や住所確認、参加人数の確定など不安な点が多々ありました。無事に成功するか心配でしたが、同窓会が始まると不安や大変だったことが吹き飛んでしまうくらい楽しい二時間でした。高校時代に親しかった友達は勿論、クラスや部活動が違ひ中々話す機会が無かった同級生とも話すことができ、会話の中で「こんなことあったよね?」「えっ?!そんなことあったかな?」とお互いに印象に残っている出来事や思い出話へ、「今、こんなことしてるんだ!」「東京で働いてるんだよ」など近況話をして盛り上がります。学生だった頃から十年も経つ

と各々、取り巻く環境は大きく変わりますが、その中で成長し、それぞれが大人としてしっかりと道を歩んでいることを実感しました。同級生達の頑張っている姿、活躍している話を聞くと自然と元気が出て、頑張る活力が生まれます。同じ学校で三年間共に学んだ仲間が居ることとはとても心強く、励みになることを改めて実感しました。

また、先生方とは当時の私たちの印象など教師から見た私たち・月高生の良い所を聞き、違う目線からも昔を振り返ることが出来ました。会の終わりには、「楽しかったよ!来て良かった。」とお言葉をいただき、楽しんでる皆さんの姿を見ると幹事をやって良かったと心から思います。

不安もある中での初参加でしたが大変楽しい同窓会懇親会となりました。十年後、二十年後の同窓会ではさらに多くの同期生が参加出来れば、より一層盛り上がり楽しい会になると思います。最後になりますが開催に至るまでに同窓会役員を始め、各期の諸先輩方のご協力、同期の当番幹事の皆様へ手伝って頂いたこと心から感謝申し上げます。それでは十年後またお会いできることを楽しみにしております。



「月高六期会 絆は永遠に!!」 月高六期会解散するにあたって

代表幹事 宮本清司
6期生・昭和33年卒

私達 昭和三十三年卒業の同期会(六期会)は昨年平成三十年五月二十七日、卒業六十周年記念同期会を最後に、四十年間続けてきた同期会に終止符をうち「六期会」を解散する事にいたしました。

月寒高校は戦後月寒小学校の分校として昭和二十四年に建てられた木造二階建て校舎と陸軍二十五連隊の施設の一部を利用して二十八年度から本格的に道立高校として使用されたばかりの学校でした。

当時はまだ札幌市との合併前で豊平町唯一地元の道立高校でした、現在は北海道札幌月寒高校ですが当時は北海道立月寒高校でした。学区は確か石狩学区で豊平町が中心の狭い範囲だったと記憶しております。豊平町役場も月寒にあり在校生の半分以上は月寒出身者でした。そんな創立間もない昭和三十年、私達十五歳の少年たちは晴れて月高生として入学、これが六期生の最初の出会いです。

戦後十年経ったとはいえ入学当時はまた「衣食住」全てが不足していた時代、登校時、革靴は稀でほとん

どがスック靴か下駄通学でした。そんな何もかも不足していた時代でしたが、生まれて十五年は戦争だ、敗戦だ、引揚だ、進駐軍だと思つく暇なく過ごし、哀しいかな満足いく生活を経験したことがなかったので、不自由を不満と感ずること無く学校生活を送っており、校内行事のクラス対抗バレーボール大会、ソフトボール大会、炊事遠足、石狩浜の海水浴等々、とにかく六期は三学級しかないのが幸いしたのか、クラスの垣根を越えて何時も行動を共にしていた気がします。とにかく地元や近郊の小、中学校出身者が多く、気心知れた幼馴染みが一緒でしたので、中学校の延長気分で高校に入学した為、新鮮な感じは無かった気がします。

それから時が流れて昨年で卒業六十年が経過致しました。小中学校からの付き合いを入れると人生のほとんどが一緒といっても過言ではない人達も大勢おりました。

地域制、時代背景を考えると私達の様な同期が二度と現れる事はないのではな

いでしょうか。
卒業時髪を伸ばし始めたばかりの男の子や、おっぱいの女の子、穢れのない純真な子供達も今年七十九、八十、八十一歳を迎え、孫もひ孫までいるおじいちゃん、おばあちゃんになりました。

青春時代の恩師たち、「六期会」にご理解、協力頂いた先生たちも他界され、私達もそれを超えるか、それに近い年齢となりました。

卒業時百五十名程いました同期生も、昨年亡くなられた五名を加えますと、確認されているだけでも四十五名の方が物故者となりました。また消息不明者十三名を加えますと五十八名となり、三分の一以上の仲間とお別れたこととなります。残る私達もご覧の高齢の為、満足いく体調の人がどこかここか不調を訴える人が殆どです。現在も入院中、静養中の方もおられます。これ等の事を鑑みても解散止む無しの時期に来ていたものと思います。

振り返りますと、私たち「六期会」はこの四十年間様々な企画を実施して参りました。昭和五十三年から始まった同期会、最初の十年間は札幌市内で開催。昭和六十三年卒業二十周年記念を機に定山溪温泉で一泊二日の宿泊同期会を開催。

平成十年から卒業四十周年記念同期会を機に貸し切りバス利用の道内観光旅行同期会を実施。平成二十年卒業五十周年記念同期会を二泊三日の東京で開催。平成二十二年からは費用の掛かる貸し切りバス利用の道内観光を取りやめて、定山溪温泉に切り替えて実施してまいりました。

六期会は恩師や会員の叙勲や受賞の祝賀会、或いは恩師の記念講演会等々、様々な企画を実施して参りました。また同期の交流の輪を広げる事を目的に平成十三年に月高六期パークゴルフ同好会を三十名程で発足、名称「P・Gフレンズロッキーズ」として最大四十二名を教え、月例会、月高六期杯、PGFロッキーズ杯等活動しておりました。現在も人数は減りましたが細々と続けております。また個々にはゴルフや山に登ったりと本当に子供の頃のように仲良く過ごしております。今更ながら六期生の絆の深さと行動力に我ながら感心、感動させしております。

これからは六期会としての活動は無くなりますが、今までの実績を踏まえて個々に親交を深め絆を絶やさぬよう、元幹事一同頑張つて参りたいと思っております。

会は解散しても六期会は永遠に同期生です。



平成30年度 月寒高校6期会総会

「後輩との出会い」



木村 喜代司
10期生・昭和37年卒

十三年前より我が母校の東洋大学の経済学部で、毎年一回、一時間ゼミで、毎年一回、一時間四十分ほどの時間講師を頼まれ講義をしております。

私が在学中（昭和三十七〜四十一年）の頃は経済学部と言えは百名の中には二人位しか女性はおりません時代でしたが、安田ゼミの学生（二年生の二十才）で二十名の内半分が女子学生で時代は変わりました。

一年前の五月三十日のことですが、始めに私のプロフィールを学生全員に渡すと、前列に座っていた学生がそれを見て突然に大声で「わ、僕の高校の先輩だ、」と興奮して「僕は月高の六十四期卒ですが先輩は同期ですか？」と聞かれ「同期です」と答えたが、あまりにも年の差を感じ答えずらなかったのですが。しかしお互いに札幌から出てきて東京でしかも同じ大学の経済学部とは驚きです。現在の東洋大学は在校生が三万人余もいて二十人のゼミの中の一人に会えたことは、やはりうれしく思いました。

私は毎年、東大出のエリート

の安田教授に講師を頼まれましたので、私は同じ様なお話を毎年聞くのは嫌でしょうから、と断わりましたら「それでも良いのです、学生は毎年変わるので、か・ら・と・言われ十三年になります。自分も二十才の若いエネルギーをもらえる楽しみも心の中にはありません。又そのまま断つていましたら後輩との出会いもなかったでしょうね・・・」

以前に大学の後輩の女性から「木村さん学生にどんなお話をされているのですか？」と聞かれて即座に「台東区で二十七才で独立してから四十八年になり、当然、台東区には上野と浅草があるので学生たちに上野や浅草の夜の穴場を教えている」とふざけて言ったら「真面目に聞いているのに」と怒りだしました。講義の内容はやはり創業当時の話から学校では習わない特許（二十数件取得済み）の勧めや、大学の校友会で昨年まで十二年間代議員を務め、十二年前から異業種交流白山会を立ち上げ会長を務め、ネット、国内や海外の卒業生と交流するために、協力して「東洋キラリネット」を立ち上げたこと、等々です。

必ず最後には学生たちの進路を選ぶのに自分の性格

で鳥に例えて「カゴの鳥」と「野鳥」のお話を入れます。「カゴの鳥」は外敵に襲われることもなく食べるものも常にもらえるが自由に飛び回る事は出来ません。「野鳥」は家族の分までエサを探し、外敵にも襲われたりしますが、自由に飛び回る事が出来ます。それと大切なことは何でもチャレンジをしなさい、私は失敗したことが数多くありましたが、失敗しても必ずその中から学ぶことがあります。何もしない事は最悪です。

私は十年前に六十五歳で本業を息子に世代交代して第二の創業で健康商品「あわあわ水素くん」の製造販売をして、その為に経済学部が医学部の勉強を始め、七十才を過ぎてから文部科学省の一級健康管理士試験にチャレンジして、なんとか受かりましたが、歌の文句ではありませんが前の日に覚えた三つが朝になると二つ忘れる。三歩進んで二歩さがるの連続の苦戦をしましたので学生達には勉強はやはり若いうちにしなさいと教えております。

私は、今までしてきたことを、七十才を過ぎてから自分の名前と連記して別名『平成の意見番 木村彦左衛門』と名乗り、政界・財界・役所等のトップ宛に提案書を出しており、自分の人生の役割と思っております。



札幌月寒高等学校22期同期会

昨年九月一日、恩師大江先生、三枝先生、中村先生を始め、総勢百五名が、札幌京王プラザホテルに集まり、選歴同期会から三年後の同期会を開催した。

前回の選歴同期会は、人生の節目の同期会ということもあって、出席者の近況報告やクラス対抗のゲーム

ご協力をお願い「あわあわ水素くん」は私が安く良い商品をめざし開発した世界で唯一の製品ですので自信を持ってお勧

「同期会の原点に返って」

22期同期会 会長 伊藤 政美
22期生・昭和49年卒



大会と内容も盛りだくさんであったが、今回の余興は、スライドの上映のみと極めてシンプルな同期会であった。

今回の同期会開催には、一年前から各クラスの幹事による実行委員会を開催し、準備を進め同期会の内容について検討してきた。

例えば、ユニークなクラス対抗ゲームの他にも、クラス担任の先生だけではなく、当時の思い出深い教科担任の先生も招待してはどうか、とか。

また、一部の幹事の間ではあるが、月寒高校と言えば「マンドリンクラブ」そこで、当時のマンドリンクラブ員による演奏はどうか等、様々な案が検討された。

確かに、実現困難な案もあり断念したものも多かったが、それより、余興で同期会を盛り上げるのではなく、「お互いの語り合い」である同期会の原点を大切にしてはどうか、というあの幹事の意見がきっかけと

めいたします。生活習慣病を無くして、益々増加する医療費の削減に寄与出来ればと思っておりますので賛同される月高OBは当社

(ニューアドバンス㈱)のHPを見て頂ければ幸いに存じます。「健康に勝る財はなし」感謝 木村喜代司

なり、余興はスライド上映のみのシンプルな同期会となったのである。

はたして、開催当日は、不肖、私の乾杯に始まり、ご出席いただいた恩師のご紹介、それから思い出深いスライドの上映と続くところには、会場が笑いと語りの輪に包まれた。

その後、物故者への黙祷全員での記念撮影と、あつという間にお開きとなり、クラスごとの二次会へ、その後は、クラスの垣根をこえて三次会へと続き、終始思いやりと優しさに包まれた一時であった。

さて、今回で、選歴同期会から二回目であるが、より多くの人が集うにはどうしたらよいか色々課題も見えてきた。

これからも、月寒高校と共に青春時代を過ごした仲間たちとの絆を大切に、各クラスの幹事の皆さんと一緒に、思い出に残る同期会の開催を目指してゆきたい。

そして、最後に、幹事長の佐々木裕二さんを始め、お忙しい中、何度も打ち合わせにお集まり頂いた各クラスの幹事の皆さん、本当にお疲れ様でした。

「還暦を祝して」

25期同期会 代表 不破 寿也

25期生・昭和52年卒

平成三十年十一月十七日(土曜日)、北海道札幌月寒高等学校二十五期生の還暦を祝して、同期会が札幌プリンスホテル パミール館で開催されました。二年前に札幌パークホテルで行われた同窓会大懇親会終了後、同期だけでの二次会の会場で「還暦同期会をやる。」との出席者の一声から開催されました。平成三十年に入って、同窓会の幹事、出席者から「還暦同期会、やらないの。協力するよ。」と、連絡が私のところの入ってきて、正直言って「どうしよう。」と、思っていました。高校にある名簿では、同窓会の連絡のための郵便物が半数以上戻ってきてしまい、高校卒業当時の住所から郵便物が戻ってきた卒業生は名簿から名前がなくなっていたという状況でした。進学、就職、結婚、転勤等で住所がわからなくなっている方がたくさんいました。卒業時に決めたクラスの幹事さんですら行方不明になっているクラスもありました。

まず初めに「還暦同期会を開催するぞ。」と日程を決めてから同窓会に参加してくれた同期に連絡。そこから、出席人数が決まった

ら場所を決めようということになりました。

今回の還暦同期会の連絡は、人と人とのネットワークから始まりました。クラスを超え「噂を聞いたよ。」と、いう連絡もかなりありました。高校時代に一度も話をしたことがない人とも、電話でお話をしました。メールだけでの連絡のやり取りした方もいました。特に、女子のネットワークがすごくて、クラスを超えて連絡を取り合っていたいただきました。そして、男子の方にも連絡をとってもらいました。

今回の還暦同期会の開催に関しては、女子の幹事さんの活躍がなければ開催できなかつたと思います。連絡、確認、集計、料理の確認、受付、司会等をすべてやっていただきました。ほんとうに女子の皆様、大変ありがとうございました。

開催当日受付では、「右側が一組から五組まで。左側が六組から十組です。」と、女子の幹事の方々が声を出して案内をしてくれました。人が集まってくると「お久しぶり。」という声があちこちから聞こえました。

開場になってから、初めはクラスごとに席を用意し

てましたが、「今日は、余興はありません。卒業以来四十年ぶりに会った方々もいます。大いに語り合ってください。乾杯。」の、一声で席がぐちゃぐちゃになりました。皆さん、懐かしかったのでしょうか。高校時代に戻ってしまったようでした。受付で名札のシールを配りましたが、特に女子は旧姓で書いてました。中には、「旧姓で呼ばれるなんて何十年ぶりかなあ。」と、言っている女子もいました。

今回の還暦同期会に参加して下さった百四名の皆さん。そして、仕事等でどうしても出席できなかった皆さん。私たちの同期は、高校入学時四百五十名いました。まだまだたくさん連絡の取れない同期の方がたくさんいます。探しましょう。還暦同期会の終了時に、二年後にまたやりましょう。と、今回出席していただいた方々全員の約束しました。年をとっても同級生です。昔にかえることができずした。気兼ねなく話ができる仲間に会うことができました。「よかった。よかった。」と、言う声がたくさん聴かれました。

皆さんの協力で、本当に良かった還暦同期会でした。永遠の友情に万歳。



北海道札幌月寒高等学校同窓会則

第1章 総 則

- 第1条 本会は北海道札幌月寒高等学校同窓会と称し、事務局を本校におく。
- 第2条 本会は次の会員をもって構成する。
1. 正 会 員 本校卒業生及び本校に在学したもので役員会において承認されたものとする。
 2. 名誉会員 本校の現職員及び旧職員とする。
- 本会は会員相互の親睦を図り教養を高め、あわせて母校の発展に寄与することを旨とする。
- 第3条 本会は会員相互の親睦を図るための次の事項を行う。
1. 会員相互の連絡
 2. レクリエーション
 3. 会誌及び会員名簿の発行
 4. 母校の後援
 5. その他の目的を達成するために必要と認められる活動

第3章 機 関

- 第9条 本会の目的を達成するため次の機関をおく。
1. 総 会
 2. 役員会
 3. 幹事会
 4. その他
- 第10条 総会は本会の最高決議機関である。
- 第11条 毎年、原則として年1回定例総会を開催する。
- 臨時総会を開催することができる。
- 第12条 臨時総会を開催するときは、
1. 会長が必要と認められた時。
 2. 幹事の3分の1以上、もしくは正会員の10分の1以上の連署による要求がある場合。
- 第13条 総会において、次のことを行う。
1. 会務の報告
 2. 役員改選
 3. 決算報告及び予算案の審議
 4. 事業計画の審議
 5. その他の必要事項の審議
- 第14条 役員会は、総会に準ずる決議機関として開催する。
- 第15条 役員は次のことを行う。
1. 総会提出議案の作成
 2. 事業計画の立案
 3. 予算の作成
 4. その他、必要事項の審議
- 第16条 幹事会は次のことを行う。
1. 会長から委任された事項についての審議
 2. その他、必要事項の審議
- 第17条 会長または役員会は、必要と認める機関を設けることができる。
- 第18条 第9条に掲げる機関における議事は、出席正会員の過半数でこれを決する。可否同数の場合は、議長の決することによる。
- 第19条 本会の経費は、会費、寄付金、及びその他の収入をもってあてられるものとする。
- 第20条 本会会費は正会員1名につき5,000円とし、入会の際にこれを納入しなければならない。
- 第21条 役員会が必要と認め、さらに総会がこれを承認した場合は臨時に会費を徴収することができる。
- 第22条 本会の会計年度は、9月21日より翌年の9月20日とする。

第4章 会 計

- 第1条 本会には次の役員をおく。
1. 顧問 若干名
 2. 名誉会長 1名
 3. 会長 1名
 4. 副会長 若干名
 5. 幹事長 1名
 6. 副幹事長 若干名
 7. 会計 1名
 8. 書記 若干名
 9. 庶務 若干名
 10. 幹事 若干名
- 第2条 役員の出選は次の通りとする。
1. 名誉会長は本校長を推す。
 2. 会長、副会長、幹事長、副幹事長及び会計監査は役員会において正会員中より選出し総会において承認する。
 3. 書記は会長が委嘱する。
 4. 幹事は、卒業各期より各クラス1名を選出する。
 5. 顧問は、会長が委嘱する。ただし少なくとも1名は理事職員とする。
- 第3条 役員の出選は次の通りとする。
1. 会長は、本会を代表し、会務を統轄し役員会を主催する。
 2. 副会長は、会長を補佐し、会長に事故のあるときは、その職務を代行する。
 3. 会計は、本会の会計をつかさどる。
 4. 幹事長は、幹事会を主宰する。
 5. 副幹事長は、幹事会を補佐する。
 6. 会計監査は、本会の会計を監査する。
 7. 書記は、本会の庶務をつかさどる。
 8. 幹事は、幹事会を構成し、また、当該クラスの会員の連絡等にあたる。
- 第4条 役員の出選は次の通りとする。
1. 会長、副会長、幹事長、副幹事長及び会計監査の任期は2年間とする。ただし、再選は妨げない。

附 則

- 本会則は昭和56年8月28日より施行する。
- 平成4年8月21日会則一部改正
平成15年10月24日会則一部改正
平成20年10月18日会則一部改正

ご協力ありがとうございました

文化体育後援会（全日制）・後援会（定時制）助成及び郵送協力費にご賛同いただいた方の名簿です。

平成30年3月～31年1月受付分

(敬称略)

卒業年	氏 名	卒業年	氏 名	卒業年	氏 名
旧職員	勝野 恒	昭和41	安藤 子	昭和54	徳丸 晋
昭和29	菊地 宥	昭和42	船橋 良	昭和54	二反 玲
昭和29	今井 葉	昭和44	松岡 まち	昭和54	佐々木 一
昭和29	佐々木 和	昭和44	岩瀬 洋	昭和54	野田 真
昭和29	澁谷 直	昭和45	長尾 光	昭和54	西川 英
昭和29	宮村 正	昭和47	鈴木 弘	昭和54	畑山 裕
昭和32	嶋嶋 英	昭和48	佐々木 洋	昭和56	南 仁
昭和32	山上 桂	昭和49	古澤 慎	平成1	上 直
昭和32	木下 睦	昭和49	佐々木 裕	平成1	松 洋
昭和33	藤田 和	昭和50	三川 義	平成1	伯 里
昭和34	西城 一	昭和50	安田 雅	平成1	山 純
昭和37	木村 喜	昭和51	豊相 真	平成1	福 永
昭和37	根津 素	昭和51	相崎 一	平成1	永 敏
昭和38	伊藤 信	昭和51	高藤 英	平成1	押 見
昭和39	渡辺 英	昭和51	齋藤 泰	平成11	八 邦
昭和40	水戸 悦	昭和52	井野 子	平成11	中 江
昭和41	三ツ野 幸	昭和54	佐大 裕	平成11	西 希
昭和41	井筒 和	昭和54	高木 宏	平成11	佐 史
昭和41	内 一	昭和54		平成11	佐 壽
					徳丸 晋
					二反 玲
					佐々木 一
					野田 真
					西川 英
					畑山 裕
					南 仁
					上 直
					松 洋
					伯 里
					山 純
					福 永
					押 見
					八 邦
					中 江
					西 希
					佐 史
					佐 壽

平成29年度 同窓会事業報告

[2017年10月21日～2018年10月20日]

Table with columns: 年月日, 区, 内容, 答. Contains details of alumni association activities from October 2017 to October 2018.

平成30年度 同窓会事業計画

- 1. 会員相互の連絡をより緊密にする。
① 大懇親会には、より多くの会員に出席してもらおうようにする。
② 同窓会会報『つきさっぷ』第35号を発行し、広く配布する。
③ 社会的に母校の栄誉を高めるため活動した会員に同窓会賞を授与する。
④ 上記の①から③について効果的、効果的に行うため同窓会会員名簿の充実を図る。
⑤ 名簿のデータの電子化を促進する。
⑥ 総会の運営を円滑にするため、当番幹事を決め会議を開催する。
⑦ 同窓会公式ホームページの維持・内容の充実を図り、次世代の同窓会会員との情報共有拠点となるようにする。
⑧ H Pのリニューアルと更新作業に取り組み。
⑨ 事業の計画を迅速、効果的に実施できるように役員会組織を改編し、役員会を柔軟に応じて随時開催する。
2. 母校への後援を行う。
① 文化体育後援会(全日制)・後援会(定時制)への助成を行う。
② 全国大会・国体・またはそれに準じる権威のある大会に出場する在校生の活動を助成する。
③ 壮行会にてお渡しする。
④ 母校70周年の諸行事への協力
3. 同窓会入会式を挙行し、新会員(卒業生)へ記念品を贈呈する。
・記念品を検討する。
4. その他
① 同窓生として繋がることのできる同窓会を目指し、活動の充実を図る。
② その他

平成29年度 同窓会会計収支決算書

[平成30年9月28日現在] (単位：円)

Income Statement table for 29th year with columns: 科目, 予算額, 決算額, 増減(△), 摘要. Includes items like 前年度繰越金, 会費, 雑収入, etc.

支出の部 (単位：円)

Expense Statement table for 29th year with columns: 科目, 予算額, 決算額, 増減(△), 摘要. Includes items like 通信費, 記念品代金, 印刷費, etc.

記念事業積立金収支決算書

(単位：円)

Memorial Fund Statement table with columns: 前年度繰越金, 本年度利息, 本年度積立金, 本年度支出, 本年度残高.

会計監査報告

平成29年度北海道札幌月寒高等学校同窓会会計について、経理並びにその関係書類について監査の結果、適正に処理されていることを認めます。

平成30年10月4日

会計監査 野田靖子

平成30年度 同窓会会計収支予算書

(単位：円)

Budget Statement table for 30th year with columns: 科目, 30年度予算額, 摘要. Includes items like 前年度繰越金, 会費, 雑収入, etc.

支出の部 (単位：円)

Expense Statement table for 30th year with columns: 科目, 30年度予算額, 摘要. Includes items like 通信費, 記念品代金, 印刷費, etc.

記念事業積立金予算書

(単位：円)

Memorial Fund Budget table with columns: 前年度繰越金, 本年度利息, 30年度積立金, 30年度支出, 30年度残高.

